

平成 30 年度「創成プロジェクト・総合工学演習」実施報告書

平成 30 年度も多くの学外テーマ提供者・サポート教員および学生の協力を得て、「創成プロジェクト」と「総合工学演習」を合同開催し、多くの成果を挙げる事ができた。

表 1 に平成 30 年度の創成プロジェクト・総合工学演習に関するスケジュールを示す。

表 1 平成 30 年度「創成プロジェクト・総合工学演習」実施スケジュール

実施日	内容
4月9日(月)	「創成プロジェクト説明会」2番講義室(6校時)
4月16日(月)	「知的財産・発想法」についての講義 矢澤教授 2番講義室(6校時)
4月17日(火)	「テーマ決定と物品購入案内」2番講義室(6校時)
5月1日(火)	3者面談期間(～5月18日まで)
5月2日(水)	創成プロジェクトサポート教員ミーティング
5月2日(水)	工学教育支援センター平成30年度第1回運営会議
6月20日(火)	アイデア発表会 2番講義室(6校時)
10月4日(木)	中間発表会 2番講義室(6校時)
11月10日(土)	最終成果発表会 総合教育研究棟・多目的ホール(午後)
11月30日(金)	3大学工学部教育連携会議(新潟大学)
12月1日(土)	学生ものづくりアイデア展 in 新潟

4月9日の説明会で11種類のテーマの概要を紹介した後学生を募集し、最終的には表2に示す10チームに分かれて活動することになった。今年度は昨年度と同様、中間発表会を10月初旬に、最終発表会を11月中旬に設定し、12月初旬の学生ものづくりアイデア展に臨んだ。最終成果発表会では学外からの参加者も含めてものづくりの成果に対する説明やプレゼンテーションを行い、学生を含めた全員の投票で、第1位～第3位を以下のように選出した。

第1位:「噴流装置によるお茶園改良計画」チーム

第2位:「しぶとく強い大戦コマの開発」チーム

第3位:「本明川散策路に設置する案内看板のデザイン検討」チーム

新潟大学で開催された12月1日の「学生ものづくりアイデア展」には、長崎大学から最終成果発表会で第1位、2位となった2チームが参加し、新潟大学からの13チームおよび富山大学からの7チームと成果を競い合った。その結果、長崎大学から出展された「噴流装置によるお茶園改良計画」チームが銀賞を、「しぶとく強い大戦コマの開発」チームが特別賞を受賞し、長崎大学学生が制作した作品の質の高さと着想の豊かさが評価された。

表2 平成30年度の創成プロジェクトテーマ概要

テーマ名	担当者	サポート教員
新しいサイエンスマジックの開発	山田 俊樹 (機械・3年) 原田 大暉 (電気・3年) 神前 克誠 (情報・1年) HONG YUNG ROK (情報・1年)	矢澤 孝哲
触覚デバイスを用いた手術用ロボットのシミュレータを実現するためのUnityプラグインの開発	池原 陽大 (情報・1年) 濱屋 友啓 (情報・1年) 藤原 航平 (情報・1年)	菌田 光太郎
噴流装置によるお茶園の改良計画	檜林 龍太 (電気・1年) 原田 怜 (電気・1年)	鈴木 誠二
錠剤オープナーの開発	池田 直弥 (機械・3年) 田中 順也 (機械・3年) 松尾 亮汰 (電気・1年)	大坪 樹
離島における観光資源調査と地域おこし	内藤 杏 (化物・3年) 江口 広希 (電気・1年)	林 秀千人
バーチャル・リアリティ・セグウェイ(VRセグウェイ)の開発 ～いつでもどこでも、VRセグウェイで五島観光～	三浦 千里 (情報・修士1年) 浦岡 竜太郎 (情報・1年) 河津 拓歩 (情報・1年) 富永 圭彦 (情報・1年)	小林 透
バイリンガルコミュニケーションロボットの開発 ～Introduce the Nagasaki tourist site～	栗山 孔臣 (情報・修士1年) 竹内 賀徳 (化物・3年) 八木 勇成 (化物・3年) 吉田 まりあ (電気・1年) 下田 凌雅 (情報・1年)	小林 透
本明川散策路に設置する案内看板のデザイン検討	梅本 佑希 (情報・1年) 畑 春花 (情報・1年)	高橋 和雄
一緒に歩こう！電動モビリティの開発	宮田 一真 (機械・3年) 古川 涼一 (機械・3年) 細畑 ルナ (電気・1年) 大塚 宙 (情報・1年) 豊永 一心 (情報・1年)	坂口 大作
しぶとく強い大戦コマの開発	坂口 貴琉 (機械・1年) 佐藤 滉隼 (機械・1年) 中園 貴大 (機械・1年)	扇谷 保彦